

第642号



喬木村公民館：長野県下伊那郡喬木村6664



発行日 2022年9月16日
発行責任者 喬木村公民館長 徹
編集責任者 公民館編集部 志
印刷 龍共印刷株式会社

実行委員長
内山清心くん
本日は、平成十三、十四年に生まれた私たちの為に、この様な盛大な「二十歳のつどい」を開催していただきまして誠にありがとうございます。市瀬村長を



はじめ、御来賓の皆様にお祝いとお言葉頂き、二十歳としての喜びを感じると共に、責任の大きさに身が引き締まる思いです。また、コロナ禍、この様に集まることができたのをおかげであると、二十歳のつどい参加者を代表して心より御礼申し上げます。

私、内山清心は、高校卒業後、神奈川県横須賀市の海上自衛隊横須賀教育隊に入隊しました。当時、飯田文化会館で行われた、自衛隊入隊者激励会にご出席頂いた市瀬村長から、励ましの言葉と共に、「成人式には、是非スピーチを頼むな」と言ってもらったことを思い出します。あれから四か月の訓練を経て、横須賀基地を母港とする「護衛艦ゆうぎり」に乗艦して、「ソマリア海賊対処」や「遠洋訓練航海」でグアム、シンガポール、アフガニスタンなどの航海任務に就きました。

そして現在、自衛隊飯田出張所、広報官として三か月間の臨時勤務をしております。本日、二年越しに二十歳のつどいでの挨拶という市瀬村長との約束を

果たせたことをとても光栄に思います。さて、約二年前に故郷を離れ、久しぶりに帰省すると、今まで気づかなかった喬木村の魅力を感じる事が多くありました。中学野球のお手伝いに行った際、保護者の皆さんに、「お休みの日に来てくれてありがとう」と大変感謝されました。また、夜間ソフトボールの仲間誘って頂いたり、採ってきたばかりの野菜を届けてくれたり、地域の方々が、とても優しく温かいのが、喬木村です。また、新鮮な野菜や、甘いイチゴ、ブルーベリーに桃などの果物や、柔らかく、つい食べ過ぎてしまう、くりん豚など、喬木村には自慢できる

美味しい食べ物がたくさんあります。私の唯一の自慢である、この健康で丈夫な身体は、喬木村の美味しい食材を沢山食べてきたおかげだと思っています。本日、参加している私たちは、喬木村の多くの方々に支えられ、心も身体も大きく成長することができました。時にはおぶつかりながらも共に歩んできた仲間たち、我が子のようにご指導くださった先生方や、クラブの監督・コーチ、いつも温かく見守って下さった地域の方々、沢山の愛情を注いできた両親に感謝の気持ちでいっぱい입니다。

私たちは、「二十歳」というおおきな節目を迎えま

きる、ここに自分の居場所がある」という心の支えになつていきます。さて、本日この場での意見発表という大変光栄な機会をいただき、改めて自分を見つめなおしてみました。私は現在学生の身であり、経済的にも精神的にも、まだまだ自立しているとはいえません。これまでは自分のことで精一杯でただ我武者羅に日々を過ごしてきました。しかし、社会に目を向けると、新型コロナウイルスやウクライナ問題等々、多くの課題が溢れています。そういった世の中の動きからも目をそらさず視野を広く持ちつつ、人や社会が正しい方向へ進めるように各々が行動することこそが成人した者の務めであると思います。私一人ができることは小さなことかもしれ

木下英利香さん
2組
本日は、私たちのためにこのような素晴らしい二十歳のつどいを催していただきありがとうございます。新型コロナウイルスの影響で様々な行事が中止や延期を余儀なくされる中、私たちの人生にお

果たせたことをとても光栄に思います。さて、約二年前に故郷を離れ、久しぶりに帰省すると、今まで気づかなかった喬木村の魅力を感じる事が多くありました。中学野球のお手伝いに行った際、保護者の皆さんに、「お休みの日に来てくれてありがとう」と大変感謝されました。また、夜間ソフトボールの仲間誘って頂いたり、採ってきたばかりの野菜を届けてくれたり、地域の方々が、とても優しく温かいのが、喬木村です。また、新鮮な野菜や、甘いイチゴ、ブルーベリーに桃などの果物や、柔らかく、つい食べ過ぎてしまう、くりん豚など、喬木村には自慢できる

美味い食べ物がたくさんあります。私の唯一の自慢である、この健康で丈夫な身体は、喬木村の美味しい食材を沢山食べてきたおかげだと思っています。本日、参加している私たちは、喬木村の多くの方々に支えられ、心も身体も大きく成長することができました。時にはおぶつかりながらも共に歩んできた仲間たち、我が子のようにご指導くださった先生方や、クラブの監督・コーチ、いつも温かく見守って下さった地域の方々、沢山の愛情を注いできた両親に感謝の気持ちでいっぱい입니다。

私たちが、「二十歳」というおおきな節目を迎えま

きる、ここに自分の居場所がある」という心の支えになつていきます。さて、本日この場での意見発表という大変光栄な機会をいただき、改めて自分を見つめなおしてみました。私は現在学生の身であり、経済的にも精神的にも、まだまだ自立しているとはいえません。これまでは自分のことで精一杯でただ我武者羅に日々を過ごしてきました。しかし、社会に目を向けると、新型コロナウイルスやウクライナ問題等々、多くの課題が溢れています。そういった世の中の動きからも目をそらさず視野を広く持ちつつ、人や社会が正しい方向へ進めるように各々が行動することこそが成人した者の務めであると思います。私一人ができることは小さなことかもしれ

くお願いいたします。簡単ではございますが、以上で二十歳のつどい代表として挨拶にかえさせていただきます。本日は、誠にありがとうございました。

喬木出身の若者たちの二十歳を、村を挙げて祝うことは若者の喬木への愛着を深めることにつながる。また、子ども時代と一緒に過ごした仲間との再会は、若者同士の絆を強くし、仲間と一緒に喬木で生きていきたいと考えるきっかけになると私は思う。一人でも多くの若者が喬木で住み続けてくれることを願っています。(館長)

木下英利香さん
2組
本日は、私たちのためにこのような素晴らしい二十歳のつどいを催していただきありがとうございます。新型コロナウイルスの影響で様々な行事が中止や延期を余儀なくされる中、私たちの人生にお

果たせたことをとても光栄に思います。さて、約二年前に故郷を離れ、久しぶりに帰省すると、今まで気づかなかった喬木村の魅力を感じる事が多くありました。中学野球のお手伝いに行った際、保護者の皆さんに、「お休みの日に来てくれてありがとう」と大変感謝されました。また、夜間ソフトボールの仲間誘って頂いたり、採ってきたばかりの野菜を届けてくれたり、地域の方々が、とても優しく温かいのが、喬木村です。また、新鮮な野菜や、甘いイチゴ、ブルーベリーに桃などの果物や、柔らかく、つい食べ過ぎてしまう、くりん豚など、喬木村には自慢できる

美味い食べ物がたくさんあります。私の唯一の自慢である、この健康で丈夫な身体は、喬木村の美味しい食材を沢山食べてきたおかげだと思っています。本日、参加している私たちは、喬木村の多くの方々に支えられ、心も身体も大きく成長することができました。時にはおぶつかりながらも共に歩んできた仲間たち、我が子のようにご指導くださった先生方や、クラブの監督・コーチ、いつも温かく見守って下さった地域の方々、沢山の愛情を注いできた両親に感謝の気持ちでいっぱい입니다。

私たちが、「二十歳」というおおきな節目を迎えま

きる、ここに自分の居場所がある」という心の支えになつていきます。さて、本日この場での意見発表という大変光栄な機会をいただき、改めて自分を見つめなおしてみました。私は現在学生の身であり、経済的にも精神的にも、まだまだ自立しているとはいえません。これまでは自分のことで精一杯でただ我武者羅に日々を過ごしてきました。しかし、社会に目を向けると、新型コロナウイルスやウクライナ問題等々、多くの課題が溢れています。そういった世の中の動きからも目をそらさず視野を広く持ちつつ、人や社会が正しい方向へ進めるように各々が行動することこそが成人した者の務めであると思います。私一人ができることは小さなことかもしれ

喬木出身の若者たちの二十歳を、村を挙げて祝うことは若者の喬木への愛着を深めることにつながる。また、子ども時代と一緒に過ごした仲間との再会は、若者同士の絆を強くし、仲間と一緒に喬木で生きていきたいと考えるきっかけになると私は思う。一人でも多くの若者が喬木で住み続けてくれることを願っています。(館長)

二十歳のつどい
おめでとう
おめでとうございます
令和4年

木村を近くに感じられると、とても素敵な制度で非常に元気づけられました。心温まるご支援に深く感謝いたします。他にも、ふるさとを強く意識したことがありました。それは、一人暮らしを始めてからスーパーで買った野菜を食べた時、地元産の野菜は新鮮な野菜を食べている感じが、それは決して当たり前ではないことに気づきました。この自然豊かな土地で、大切に育てられた野菜の美味しさは、地元を離れてみたらこそ強く感じることでした。そして、そのような美味しい野菜を、近所の方々がお裾分けしてくれる温かい環境で私は育ってきたのだと感じました。私にとっても喬木村は、「いつでもこの地に帰ってくるのが

きる、ここに自分の居場所がある」という心の支えになつていきます。さて、本日この場での意見発表という大変光栄な機会をいただき、改めて自分を見つめなおしてみました。私は現在学生の身であり、経済的にも精神的にも、まだまだ自立しているとはいえません。これまでは自分のことで精一杯でただ我武者羅に日々を過ごしてきました。しかし、社会に目を向けると、新型コロナウイルスやウクライナ問題等々、多くの課題が溢れています。そういった世の中の動きからも目をそらさず視野を広く持ちつつ、人や社会が正しい方向へ進めるように各々が行動することこそが成人した者の務めであると思います。私一人ができることは小さなことかもしれ

最後にになりましたが、まだまだ未熟な私たちです。今後ともご指導のほど宜しくお願いいたします。そして、これまでお世話になった多くの方々への感謝を忘れず、社会の一員として日々精進していくことを誓い、代表の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、八月十五日、「二十歳のつどい」が開催された。成人年齢の改正に伴って名称を「成人式」から「二十歳のつどい」に改め、今まで通り昨年度中に二十歳になった若者が集まった。私も主催者の一人として出席したが、「二十歳のつどい」を見ていて、その意義を強く感じた。該当者七十四名中、六十名を超える出席があった。年度によって違いはあるが、例年の出席率は五十%から七十%前後。今年はその割合を超える出席率であった。コロナ禍のため、出席を控える傾向にあるのではないかと懸念していたが、若者の意識は逆だったのだ。「二十歳の節目を、小中学校時代と一緒に過ごした友と一緒に喜びたい」という思いが、コロナ禍だからこそ強いのではないかと考えた。大人数で集まることを控える傾向の中、「二十歳のつどい」の開催を決断してくれた村当局への感謝の気持ちも、代表者たちのスピーチからよく分かった。

喬木出身の若者たちの二十歳を、村を挙げて祝うことは若者の喬木への愛着を深めることにつながる。また、子ども時代と一緒に過ごした仲間との再会は、若者同士の絆を強くし、仲間と一緒に喬木で生きていきたいと考えるきっかけになると私は思う。一人でも多くの若者が喬木で住み続けてくれることを願っています。(館長)

桐生佳朗くん



今日は私達の為にこのよ
うな素晴らしい式を盛大に
開いて頂きありがとうございます。
います。

村長を始め恩師である先
生方、地域の方々に見守ら
れここまで成長することが
出来ました。

「また来ます」と元気に帰った母上の眼鏡ケースが形見と
なりぬ

コロナ禍は会いたき人に会えぬまま収束未だ三年目の夏

夫と息子が休耕田を耕しぬ御先祖守りし峡の棚田を

朝づくり畑の草取り一休み色ざしトマトがぶり頬ばる

「また来ます」と元気に帰った母上の眼鏡ケースが形見と
なりぬ

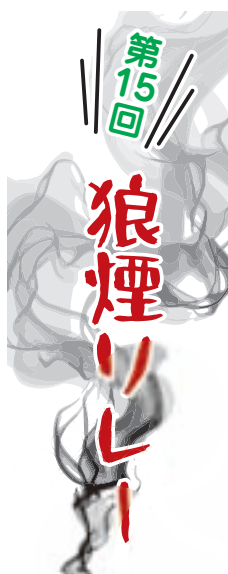
コロナ禍は会いたき人に会えぬまま収束未だ三年目の夏

夫と息子が休耕田を耕しぬ御先祖守りし峡の棚田を

朝づくり畑の草取り一休み色ざしトマトがぶり頬ばる

に照りつけるお日様の元
ちようちよを追いかけた
り、カゴいっぱいにかブト
虫を捕らえる事もできなく
なるかもしれない。今あ
るあたり前をあたり前と思
わず環境や周りの人を大切
にして下さい。

最後になりましたが、決
しておりこうさんでは無
かった私達をここまで立派
に大きく育て、見守って
下さった先生や地域の方々
そして家族に感謝を申し上
げ、意見発表とさせて頂き
ます。



八月二十七日、武田信玄
狼煙会による「第十五回
狼煙リレー」が行われた。
喬木では富田城山と加々須
茶臼山で狼煙を上げた。天
氣予報は曇りで、竜西の山
本久米が城は薄い雲に覆わ
れていてはつきり見えない
状況でした。狼煙を上げる
時間が近づくと、徐々
に視界がよくなり、久米が
城から上がる狼煙がはつき
り見えました。例年、地域
の方々や子どもたちにも来
てもらい、歴史の学習や狼

煙づくりの体験をしてもら
うのですが、今年も新型コ
ロナの感染状況が思わしく
なく、子どもたちへの参
加呼びかけを控えたため、
ちよつと寂しい狼煙上げに
なっていました。

昨年は信玄公生誕五百年
の節目の年で、根羽村柚路
峠から喬木を経て甲府の躰
躰が崎館(武田神社)まで、
目視で狼煙をリレーするこ
とができました。大きなイ
ベントが成功した翌年とい
うことも加わって、全体に

二十歳のついでに今日ま
で思えばあつという間です。
た。家族の笑顔に見守られ
温かな日差しの中、市立病
院の一室で元気良く産声を
上げた日のことをまるで昨
日の事のように思い出しま
す。

今回この「自分がどのよ
うな大人になりたいか」と
いう意見発表の題材を頂く
まではどんな大人になりた
いか深く考えたこともあり
ませんでした。みんな大人

の前の現実を受け入れさせ
る事は大切であると思いま
すが、夢を追い続けるとい
う事は現実を受け入れる事
より遥かに辛く、けわしい
道のりであると思います。

私達は夢を追い、壁にぶちあ
たるであろう、そんな子供
たちに楽な道りではなく
険しい道の歩き方を教えら
れる大人になりたいと思っ
ました。

私は小学生から続けてい
る野球を、今も愛知の大学
で勉強にも励みながら続け
ています。これまでの学生
生活、野球人生をへて多く
の友人、つながりが出来ま
した。大学のように、様々
な県や地域、育ち方の異な
る人達と交友関係を築き、
輪を広げるのは容易な事で
はありませんが、私は小・
中・高・大と友人や周りの
方々に恵まれ、日々を楽し
く平和に暮らしています。

たかぎ短歌会

葉月歌会詠草

「また来ます」と元気に帰った母上の眼鏡ケースが形見と
なりぬ

小椋 りよ

静かなるこの山里にも被害ありブルーベリーの枝切り盗
らる

内山 貴子

年寄れば野菜の作付け減らさんと思えど今年も畑は満杯

元島 康子

静かなるこの山里にも被害ありブルーベリーの枝切り盗
らる

内山 貴子

忙しく髪をカットし帰る山路 淡き合飲の穂暫し佇む

内山 和子

四度目のワクチン済ませ旅衣整え行かな湯宿は招く

福澤 亀人

朝づくり畑の草取り一休み色ざしトマトがぶり頬ばる

木下 寿子

夫と息子が休耕田を耕しぬ御先祖守りし峡の棚田を

田中 妙子

静かなるこの山里にも被害ありブルーベリーの枝切り盗
らる

内山 貴子

幾年を孫らの野球観戦すこの夏をもてすべておしまひ

市瀬 准子

年寄れば野菜の作付け減らさんと思えど今年も畑は満杯

元島 康子

静かなるこの山里にも被害ありブルーベリーの枝切り盗
らる

内山 貴子

忙しく髪をカットし帰る山路 淡き合飲の穂暫し佇む

内山 和子

四度目のワクチン済ませ旅衣整え行かな湯宿は招く

福澤 亀人

朝づくり畑の草取り一休み色ざしトマトがぶり頬ばる

木下 寿子

夫と息子が休耕田を耕しぬ御先祖守りし峡の棚田を

田中 妙子

静かなるこの山里にも被害ありブルーベリーの枝切り盗
らる

内山 貴子

年寄れば野菜の作付け減らさんと思えど今年も畑は満杯

元島 康子

静かなるこの山里にも被害ありブルーベリーの枝切り盗
らる

内山 貴子

第25回 椋文学夏期講座 演題「椋鳩十とさし絵画家たち」

講師 児童文学者 北沢彰利氏



去る八月二十一日(日)、
北沢先生を講師に喬木村
福祉センターにて「椋文学
夏期講座」を開催しまし
た。

①椋鳩十と原田泰治が
共同して本を作ったのは、
『太陽の匂い』一冊だけ
だった。『太陽の匂い』は、
一九八二年六月より刊行
が始まった『椋鳩十の本』
全二十五巻に毎月付けら
れた、原田の絵、椋の文書
の月報を本にしたものだ。
椋と原田は親子のような

の方面に来ていた盛
大に狼煙リレーをやりたい
と思っ
ていますので、是非足
を運んでください。

関係であつた。②吉崎正巳
は山口県出身の挿絵画家。
『モモちゃんとかかね』『や
まのともだち』などの挿絵
を描いている。③赤羽末吉
は東京生まれ。赤羽が椋の
家を訪ねたとき、河童の話
を書こうと盛り上がってで
きた作品が、『ほうまんの
池のカップ』。④梶山敏夫
と椋は、親子ほど年が離れ
ているが、鹿児島で椋と民
話絵本の挿絵の打ち合わせ
をしているとき、椋と一緒
に仕事ができることに感動
したという。梶山は、椋に
ほれ込み、椋の家族にほれ
込んで、椋文学の挿絵に打
ち込んで行った。梶山は、
椋のお孫さんの里花さんの
肖像画も書いている。④北
島新平は、生涯に約六百冊
の絵本、挿絵を描いている。
椋と北島は、話が通じて、
作品の舞台が思い描ける関
係だった。北島は会津出身。
生家は、会津本郷焼の家
だった。家業を継ぐため東
京の商業学校で学んでいた
が、同郷の友人に紹介され
た『山の朝』山下大五郎絵
に惹かれる。北島は徴用を
逃れ、昭和十九年四月、木

の方面に来ていた盛
大に狼煙リレーをやりたい
と思っ
ていますので、是非足
を運んでください。

関係であつた。②吉崎正巳
は山口県出身の挿絵画家。
『モモちゃんとかかね』『や
まのともだち』などの挿絵
を描いている。③赤羽末吉
は東京生まれ。赤羽が椋の
家を訪ねたとき、河童の話
を書こうと盛り上がってで
きた作品が、『ほうまんの
池のカップ』。④梶山敏夫
と椋は、親子ほど年が離れ
ているが、鹿児島で椋と民
話絵本の挿絵の打ち合わせ
をしているとき、椋と一緒
に仕事ができることに感動
したという。梶山は、椋に
ほれ込み、椋の家族にほれ
込んで、椋文学の挿絵に打
ち込んで行った。梶山は、
椋のお孫さんの里花さんの
肖像画も書いている。④北
島新平は、生涯に約六百冊
の絵本、挿絵を描いている。
椋と北島は、話が通じて、
作品の舞台が思い描ける関
係だった。北島は会津出身。
生家は、会津本郷焼の家
だった。家業を継ぐため東
京の商業学校で学んでいた
が、同郷の友人に紹介され
た『山の朝』山下大五郎絵
に惹かれる。北島は徴用を
逃れ、昭和十九年四月、木

の方面に来ていた盛
大に狼煙リレーをやりたい
と思っ
ていますので、是非足
を運んでください。

関係であつた。②吉崎正巳
は山口県出身の挿絵画家。
『モモちゃんとかかね』『や
まのともだち』などの挿絵
を描いている。③赤羽末吉
は東京生まれ。赤羽が椋の
家を訪ねたとき、河童の話
を書こうと盛り上がってで
きた作品が、『ほうまんの
池のカップ』。④梶山敏夫
と椋は、親子ほど年が離れ
ているが、鹿児島で椋と民
話絵本の挿絵の打ち合わせ
をしているとき、椋と一緒
に仕事ができることに感動
したという。梶山は、椋に
ほれ込み、椋の家族にほれ
込んで、椋文学の挿絵に打
ち込んで行った。梶山は、
椋のお孫さんの里花さんの
肖像画も書いている。④北
島新平は、生涯に約六百冊
の絵本、挿絵を描いている。
椋と北島は、話が通じて、
作品の舞台が思い描ける関
係だった。北島は会津出身。
生家は、会津本郷焼の家
だった。家業を継ぐため東
京の商業学校で学んでいた
が、同郷の友人に紹介され
た『山の朝』山下大五郎絵
に惹かれる。北島は徴用を
逃れ、昭和十九年四月、木



お知らせ

椋鳩十記念館・記念図書館開館30周年記念
原田泰治原画展「太陽の匂い」
日 時:10月1日~12月25日 10:00~18:00
※土曜・日曜は17:00まで(月曜・祝日 休館)
※10月1日はオープニングセレモニー終了後開館
会 場:椋鳩十記念館・記念図書館
入 場 料:無料

令和4年度 第1回 公民館平和学習会
世界はスプリットスクリーン~ウクライナが変える世界秩序~
講 師:市瀬卓さん(喬木出身)
日 時:10月16日 10:00開演(9:30開場)
会 場:福祉センター2階 多目的ホール
入 場 料:無料(要申込)
※申込に合わせ、市瀬さんへの質問を募集します。
【お問合せ】喬木村公民館 ☎33-2002



沢小学校に赴任する。十八
歳であつた。「霜月まつり」
をスケッチし、絵本を作り
たいと飯田の書店に売り込
むが、書店が引き受けてく
れず失望して木沢に帰る。
三十四歳のとき、県中学校
に転任。加藤明治校長、宮
下和男先生との出会いがあ
る。豊丘中学校在職中の
四十四歳、北島は、今を逃
したら年齢的にもチャンス
がないと、教職を辞して東
京に向かう。上京後三日ば
かり過ぎたとき、代田昇「て
んりゅう」の挿絵を描かな
いかという話がある。北島
は、代田の要望を入れ、何
回も挿絵を描きなおした。

この本が大評判になり、北
島の名声も上がった。
椋鳩十は、多くの画家に
愛され、共に仕事をするこ
とを喜ばれた。椋鳩十と出
会い、人柄に触れ、仕事を
する中で、若い画家たちが
育って行った。この画家た
ちが、後世に残る数々の挿
絵を残していったと話さ
れ、講演を終わりました。

編集後記

上飯田線の小川バイパス
沿いや、中原より里原に下
りる道路途中の花壇、ほか
にも村内各所で、地区の人
たちが手入れをして丹精込
めて育てられた花々が、行
き交う人たちの目を楽しま
せてくれている。

お忙しいなか、大切な時
間を割いて活動をされてお
られる方々に、心より感謝
申し上げます。こうした地
道な活動こそ、地域に目を
向けた大切な取り組みであ
り、「結い」の精神である。
世代をこえて繋いでいき
たい活動であると確信する。
(編集部)

